

単元名 夢に向かって

教材名「ようこそ先輩 ～地域の先輩から学ぶ～」

目 標

- ・ アテネオリンピック体操金メダリスト・米田功選手のこれまでの歩みを本校出身の父・米田清喜氏と米田功選手本人から聞き、夢を追い求めるための努力の過程に気づかせる。
- ・ より高い目標を立て、希望と勇気を持ってくじけないで努力しようとする気持ちを育てる。

コンピュータを活用する利点

米田選手のこれまでの歩みを振り返るための映像や写真をパソコンで編集し、DVD教材を作成する。全校一斉学習であり発達段階の違いを考えると、講話のみによる学習には無理がある。インタビュー形式で行う対談の合間に随時資料としてDVD教材を提示しながら、子どもたちの理解を深める手立てとする。

授業の流れ

事前学習

- ・ 各学年の発達段階に応じて行う。

第一部（清喜氏との対談）

- ・ 清喜氏本人について知る。
 - ・ 功選手について知る。
- 米田選手の足跡について、写真や映像を見ながら対談を聞く。**

第二部（功選手への質問）

- ・ 子どもたちからの質問
- ・ 司会者からの質問

第三部（気持ちを伝え合う）

- ・ 米田選手親子から子どもたちへのメッセージ。
- ・ 子どもたちからお礼の気持ちを伝える。

事後学習

- ・ お礼の手紙を送る。
（ビデオレターとして録画・編集した学年もあった。）

ICT活用場面

本校の卒業生である米田清喜氏と米田功選手の家族を招いての授業（「ようこそ先輩」）を核に、努力と夢を持つことの大切さに気づかせる総合単元的な道徳学習である。事前に清喜氏から様々な映像・写真・文書等の資料をいただいております、それらを整理した上で効果的に子どもたちに視覚教材として提示したいと考えた。「子どもどころ」「シドニー代表落選」「アテネでの活躍」など、6つのトピックに分けてDVDを編集した。あらかじめどのような対談になるのかを打ち合わせており、当日の対談では次の話題の布石となる資料を提示したり、映像に合わせて清喜氏に語っていただいたりする形式をとった。



成果と課題

目の前にオリンピック金メダリストが登場したことで子どもたちは大いに沸いた。しかしその風貌からだけでは、どんな努力や苦悩を乗り越えて栄光を掴んだのかは計り知れない。功選手の子どもの時代の写真が映し出されると歓声が起こり、失敗演技の映像ではため息がもれる。子どもたちは、この金メダリストにも自分と同じような子ども時代があり、失敗や挫折を乗り越えて努力を続けて来た過程があったことをより深く理解できたのだと思う。対談と視覚教材をミックスして進行させたことで、全校生という幅広い対象児童にも、無理なく共感させることができた。何を子どもたちに伝えたいのかという視点から、提示資料をより精選していくことが課題だと思われる。

ICT使用環境等

使用周辺機器名	パソコン・DVDプレーヤー・マルチメディアボード
使用ソフト名	IMovie、iDVD、PowerPoint（Mac）
使用教室	多目的ホール